

芸北教育「芸北学園構想」

芸北教育について

芸北地域(旧芸北町)の連携教育については、平成6年度からの中高連携である「芸北教育開発プロジェクト」に端を発し、「教科指導連携推進事業」「『連携型』中高一貫教育実践研究事業指定校」「『連携型』中高一貫教育研究開発指定校」などの研究を経て、芸北中学校と芸北分校の「『連携型』中高一貫教育校」の指定、及び、平成14年発足の「芸北教育研究会」に引き継がれている。

とりわけ、「芸北教育研究会」は、「芸北町内の教育関係機関の連携を図り、地域に根ざし、地域に開かれた特色ある教育の創造に向けて、町内の教育関係者の資質向上と芸北町教育の振興を図ること」を目的とし、芸北町の幼稚園・小学校・中学校の教職員が研修を積み重ねてきた。このような中、平成17年度～平成20年度文部科学省から研究開発学校の指定を受け、一定の成果を上げた。

また、平成21年に、「芸北ブロック研究会」と改称し、平成22年度には、全国へき地教育研究大会の授業公開校として保小中高が連携した取組を公開し、全国に発信することができた。

また、平成25年度～平成28年度に、2回目となる文部科学省研究開発学校の指定を受け、研究を進めた。

今後、小中合同の教育活動を中心として、小中連携を深めるとともに、芸北地域内の園小中高が互いに連携し、「地域は一つ」「地域の子どもを、地域の学校で、手を携えて育てていこう」という願いのもと、芸北教育の一層の充実を図りつつ、リーディングエリアとして様々な挑戦をしていきたい。

芸北教育のあゆみ

H6～ 芸北教育開発プロジェクト(中高連携)

H13「連携型」中高一貫教育校として県に指定される

H14～ 芸北教育研究会

H14 中学校教員の小学校への乗り入れ開始

H15 研究公開

「小学校における英語活動と中学校での英語学習の連携」～英語の使える芸北っ子を目指して～

H16 研究公開

「地域一体になって取り組む保幼小中高連携教育のあり方(算数・数学教育、英語活動・英語教育を中心に)」

H17 文部科学省研究開発学校指定

「小学校段階から『ことばの技能科』『英語科』を新設した場合の(保)幼小中高13年間一貫・系統性のある教育課程についての研究開発」(H19まで)

H19 芸北分校が英語教育優良校として文部科学大臣表彰

H20 通常の教育課程に戻していくための研究開発一年指定延長

H20 文部科学省コミュニティースクール推進芸北小学校・芸北中学校事業指定

H21～芸北ブロック研究会

H22 全国へき地教育研究大会広島大会の授業公開

芸北分校がキャリア教育優良校として文部科学大臣表彰

H25 小学校が統合し「芸北学園 芸北小学校」として発足

文部科学省研究開発学校指定

「新設領域『挑戦科』における小学校から中学校までの9年間の教育課程、系統的な指導方法について研究開発」(H28まで)

R3 芸北小学校・芸北中学校に学校運営協議会設置

広島県教育委員会「探究的な学習に関する研究推進地域事業」として芸北中学校区指定(R5まで)